

- 管内 宗谷管内
- 分類 避難訓練 危険対応能力 防災訓練 その他（ ）
- 教育課程 教科（ ）科 道徳 総合的な学習の時間 特別活動
- 校種 小学校（低） 小学校（中） 小学校（高） 中学校 高等学校
- 取組のポイント

- 地方気象台等の関係機関と連携した避難訓練を実施することにより、生徒に具体的な対応策を身に付けさせ、危機対応能力の向上を図る。
- 関係機関からの説明や講話を通じて、地域の災害対応における学校の役割について認識させるとともに、災害時の行動の在り方について考えさせる。

### 取組の実際

#### ねらい

- 地震や津波の発生時において、学校内及び学校外で、自身の安全を確保する適切な行動について理解する。
- 災害時において学校に求められる役割を理解するとともに、高校生として地域の安全に貢献する意識を高める。

### 内容

#### 1 地方気象台と連携して実施する、地震及び津波の発生を想定した避難訓練及び講話

##### (1) 避難訓練

- ・緊急地震速報を受け、教師の指示のもと、自身の安全確保を行う。
- ・教師の誘導に従い、より安全性の高い校舎最上階へ避難する。

##### (2) 講話（講師：地方気象台 地震津波防災官）

- ・地震や津波における災害から身を守るための具体的な方法について
- ・学校外における緊急避難の在り方や安全確保の方法について



【安全確保の様子】



【地震津波防災官による講話の様子】

#### 2 消防署と連携して実施する、火災や自然災害の発生を想定した避難訓練及び講話

##### (1) 避難訓練

- ・給食室からの出火による火災を想定し、教師の誘導に従い、校舎外へ避難する。
- ・火災時における安全確保（低い姿勢で口元をハンカチ等で覆う など）を行う。

##### (2) 講話（講師：消防署職員）

- ・地震や津波、暴風雪などの自然災害時に、本校に地域住民等が避難した際の支援活動について
- ・災害時の避難所開設に伴う、高校生としての役割や行動の在り方について



【消防署職員による講話の様子】

### 成果と課題

- 学校内外において、自らの安全を確保する適切な行動の在り方を身に付けさせるとともに、地域社会の人々の安全に貢献する意識を醸成することができた。
- 避難所の開設に伴う具体的な活動や避難者の支援に係る主体的な行動の在り方について、実践的な取組を充実する必要がある。